

# 日芸みやぎ

日本大学芸術学部校友会  
宮城江古田会 ニュース

## 東北楽天 念願の日本一 おめでとう！そしてありがとう！

宮城2013年11月3日、東北楽天イーグルスが、球界の巨人と言われるジャイアンツを3対0で破り創設9年目で日本シリーズ優勝の快挙。仙台の夜は日本一になった熱気に一晩中包まれました。

思い起こせば、9年前東北に初の球団、東北楽天イーグルスが産声をあげました。

2005年、初戦3対1で勝ったものの、翌日第2戦は0対26の記録的大敗。その年の成績は、38勝98敗1分けで首位と51.5ゲーム差の大敗を記しました。

この年クリネックススタジアムで、イーグルスの勝ち試合を見た人は貴重な経験をしたはずです。

その後も下位を低迷。2009年パリーグ2位でCSシリーズに出場を果たしました。イーグルスが勝ち越したのは2009年一度だけでした。

今年のイーグルス久米島キャンプ早朝の声出で、田中将大投手が『今年の主役は楽天だ！』と今シーズンにかかる意気込みを披露。まさか、現実に日本一になるとは誰も思いませんでした。

今年のレギュラーシーズン田中将大投手は開幕から負け無しの25連勝、新人則本昂大投手の15勝、そして外国人助っ人ジョンソン、マギー選手、若手選手の活躍と選手一人一人が優勝へ同じ方向を向き団結した力が日本一となりました。

被災した東北の人々をどんなに勇気づけた事か、又、仙台市民のイーグルスにたいして熱く応援している



パレードの先頭は星野監督

市民の底力を見ました。

TVの視聴率にも現れたように、今回の日本シリーズはこれまでに無いほど盛り上がった事が如実に現れています。

東北楽天イーグルス日本シリーズ優勝おめでとうございます

東北楽天イーグルスと日芸との関係は？不思議に思う方もいるでしょ。実は2005年から5年間、台湾投手の通訳として日芸映画学科卒業の邱文宗さんが仙台に住んでいました。

校友会総会の時期はシーズン中、忘年会時期は帰国中とスケジュールが合わず、宮城江古田会の行事に参加できませんでした。

邱文宗さんには東北楽天イーグルスの優勝記念CAPを贈っておきました。2013年11月24日東北楽天優勝パレードが仙台市の東二番丁通りに立すいの余地も無い21万人の観衆を集め盛大に繰り広げられました。

3・11から11・3ー東北の野球ファンのみならず、東北で被災された方々をどれだけ勇気づけてくれた楽天の優勝だったか。

被災地を本拠地とする、東北楽天球団、次の目標は連続日本一を目指してほしいものです。

(青木研一)



21万人声援に答える田中将大投手(右)ら東北楽天選手

## 会員の活躍

### はあとふるコンサート

日芸を卒業して、家業を継ぎ  
人前でドレスを着て歌う日がくるなんて、  
思ってもいませんでしたが、  
“人に何と言われようとやったもん勝ちよ  
あつと言う間に、私達も還暦なんだから！”  
そんな、勇敢な長年の友人に誘われ  
なかば重い腰を上げ女性ボーカルグループ  
“クローバーの会”の一員になりました。  
毎回「声が出なくて」とか、  
「忙しくて練習出来なくて」とか  
グダグダ言う私のお尻を叩いて、美しいドレスを着せ、  
「いつやるの?!」「今でしょう！」  
そう言ってるような彼女の視線を、背中に感じつつ、

なんと今回で三度目となったコンサート！  
たくさんの方々に聴きにきて頂き盛況のうちに終わることが出来ました  
“お尻を叩いてくれる友人”って  
そうそういるものではありません。  
なんと有難いことでしょう。  
江古田会の幹事でもある星さん、有難う  
震災後、しばらくして練習に参加した時は、  
心が震えました。  
また、やっと先日、復旧工事を終え、店舗も復活？  
する事ができました。  
支えて下さったたくさんの方々に  
感謝申し上げます。

(山本和香・星久美子・音楽S51年度卒)



山本和香さん

星久美子さん

### 千葉真康さんミニコンサート

クラシックギタリスト千葉真康さん(音楽H12年度卒)が  
12月2日に仙台市のカフェ「GANESH」(国分町)でコンサートを開催しました。千葉さんはクラシックのギターの響きをお客様に近くで感じていただくという企画を考えており、今後、仙台の小さなスペースで定期的にサロンコンサートも開いていきたいとのこと。ホールとは違う

アットホームな場所でのギターコンサートをぜひ、味わいたいですね。情報は随時、会報に掲載する予定です。

(佐藤 円)



### 岩手江古田会総会にお招きをいただいて！

野田学部長、綾部校友会会長をはじめ19名余の出席のもと開催されました。我が宮城からは、柳橋先輩、塚崎会長そして私が参加しました。学部長より、キャンパスの拡充を計り、江古田での1年から4年までの通年学習態勢をH30年までに、所沢は芸術学部のルーカスを残す記念館、卒業生が自由に使える会議室・展示・講演ホール等を作っていきたいと現況報告がなされました。総会は、なんとジェット機並みのスピードで進められ、続く懇親会も和気あいあいのうちに酒席も盛り上がり、岩手の方々との会話もはずみました。

2次会もこれまた楽しいお店で、カラオケを歌っているうちに、ママさんから次から次へと着せ替え人形のように衣装が着せられ、まわりは大爆笑、本人は知らず！

歌い終わって鏡を見て、初めて自分の変身姿がわかるという仕組みでした。そして盛岡の夜が更けてきました。

翌朝、柳橋先輩より、「せっかく盛岡まで来たのだから、盛岡ゆかりの明治期以降に活躍した先人を紹介した記念館に行ってみよう」との提案があり、出掛けました。そこには米内光政海軍大将をはじめ、金田一京助、石川啄木等130名の人物紹介や業績が展示されていました。中でも「われ太平洋の架け橋とならん」と、激動期の国際社会で活躍した新渡戸稲造の著書「武士道」が、ヨーロッパはもとより、エジプトやトルコといった中近東の国々でも翻訳されている事に驚きました。70歳を過ぎて尚、向学心を燃やす先輩には脱帽するばかりです。良い勉強になりました。

(射手矢静一・写真S41年度卒)

## 「川崎から こんにちわ」

宮城江古田会の皆様、楽天イーグルス優勝おめでとうございます。20年間住んでいた仙台から、川崎市へ移りました、小川です。

お久しぶりです。メディアテークでのアートフェスティバルでは、何度もステージに立たせていただくなど、大変お世話になり、楽しく過ごさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

少し自己紹介を。日芸卒業後、＜東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団＞へ、ヴァイオリン奏者として入団しました。結婚後、仙台へ移ってからは、フリーランスとして、仙台フィルや結婚式場等でソロ活動や室内楽の演奏、その他、後進の指導をしていました。そして4年程前、川崎市へ来ました。

こちらでは、ヴァイオリンの他、折り紙協会公認講師の資格を活かし、学校で教えたり、出品したり。又、近頃、ジャズピアノを習い始め、この秋は発表会が続いております。

又、今年の2月には皇居ボランティアに参加させていただき、両陛下から直接のお礼を賜りました。そこは、

## オルゴール製作20年

2011.3.11から2年8ヶ月が経ちます。その節には、大学と宮城江古田会からお見舞いを、わざわざお届け下さいまして御礼申し上げます。海岸から4kmも離れた私の所まで、川も溝も乗り越え、4つの集落も飲み込んで押し寄せて来ようとは、想像もしていませんでした。

歴史の中に、平安の貞観・江戸の慶長・明治27年・昭和8年の大津波がありました。それよりひどい東北全体で死者不明者2万人を超える大惨事。この歴史の中に自分が居合わせたという事。半壊の被害者になったという事。そして、何とか片付け、元に戻したという事。今、私は、何ものにも負けない、強い誇りといった感じさえ、自分の中に持っています。人は、食べて生きて居さすればいい者ではありません。直すところは直して、又、仕事を続けて行かなければいけません。

## 塩竈フォトフェスティバル開催

塩釜出身の写真家平間至さん(写真S61年度卒)が実行委員長を務める第4回塩竈フォトフェスティバルが今年9月開催されました。一次審査を経た27人が、公開審査のポートフォリオレビューに進み、平間至さんはじめ8人の専門家に1対1で作品を見せて講評を受けていました。最終審査の結果、東京都中野区の篠田優さんの作品が大賞に輝き、副賞として写真集出版の権利が贈られました。

また、同時開催の「ゼラチンシルバーセッションーベストプリント」展では、参加写真家による銀塩写真の作品多数が出展され、深い奥行きの写真空間に暗室作業の印画紙の香りが漂っていました。(塚崎隆夫)

実に静かで厳かな時間が流れていました。

夏には伊勢神宮、秋には戸隠へ。写真は戸隠の鳥居の中に、朝日がすっぽりと入った瞬間です。皆様も、運氣アップ、間違いありません！！



どうぞ、皆様、上京される際は、ぜひ声をかけてください。私も毎年ジャズフェスティバルではピノキオバンドを聴きに帰仙していますので声をかけて下さい。

最後になりますが、震災で心が折れることもあるでしょうが、少しでも前へ進むことができますよう、ここ川崎から心よりお祈りしています。ぜひまたお会いしましょう。

(小川理恵・音楽S58年度卒)

人は必ず復興します。立ち上がって、仕事さえ持っていれば救われます。私のような一人でやっている零細な工房でも、一步一步、コツコツやって行けば、何とか、やって行けると思っています。(鈴木きよ子・文芸S45年度卒)



オルゴールを製作する鈴木きよ子さん



公開審査のポートフォリオレビュー  
審査を見守る実行委員長の平間至さん(中央)



今年の夏の最後に、ビックなニュース  
8月29日、かの有名な「ゆず」のお二人が蛇田2号公園仮設住宅の活動に参加。子ども達と楽しいひと時を過ごされました。にじいろスタッフ特製の手作り「ポイバンド」を額に付け、水鉄砲を持った子ども達もゆずのお二人も大はしゃぎ☆ その模様が、翌日の河北新報朝刊一面記事に掲載されました！！

一面記事になるとは…思いがけない出来事に御縁を頂き、スタッフ一同驚きましたが、支えてくださる皆様あつての活動。温かい気持ちをこれからも石巻の子どもたちの元へ届けたいと思います。

にじいろクレヨンには、芸術学部学部長をはじめたくさんの方の日大OB、OGのかたがたにサポーター会員となっていていただきご支援を受けております。10年間東北の被災児童のための活動を



続けてまいります、今後ともご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

にじいろクレヨン代表理事 柴田滋紀  
(美術H11年度卒)



## 第一回せんだい短編戯曲賞大賞に、演劇学科4年綾部さんの作品受賞

平成24年度『第一回せんだい短編戯曲賞』に日大芸術学部演劇学科制作コース4年の綾部優希さんの作品が、大賞に選ばれました。

この賞は舞台芸術に関する人材育成を目的に、公益財団法人仙台市市民文化財団が高校生達にも気軽に上演できる演目を増やそうと、平成24年度に新たに創設した賞です。

第一回は161編の応募作品があり、最終候補作品11編の中から大賞に2作品が選ばれました。

2作品の中に、芸術学部演劇学科制作コース4年の綾部優希さんの、学級崩壊に陥った小学校を扱った『止らない子供たちが轢かれてゆく』が選ばれ、8月18日仙台市宮城野区文化センターで大賞受賞式とリーディング(朗読劇)公演が行われました。(青木研一)

## 宮城江古田会 新年会 1月23日(木)開催します

宮城江古田会新年会を次の要領で開催します。ご多忙のことと存じますが、皆さんご参加下さ〜い！！  
お店が解かり難いと思われまますので、今回は、仙台市三越デパートライオン前18:00集合とします。

日時 平成26年1月23日(木) 18:10開始  
会場 ワインバー チャコールバル・オーレ  
Tel.022-261-5226 青葉区国分町2-12-20 都ビル  
会費 4,000円 お待ちしてま〜す。(桑折洋一)

【編集後記】 11月24日、東北楽天ゴールデンイーグルスの優勝パレードに21万4000人が集まりました。東二番丁通を30分かけて監督、選手が手を振りパレード！！その後たくさんの方々为中心部に残り、パレードの様子をリピート再生していた私の職場である「仙台なびっく」にも多くの方に来館いただきました。グッズや楽天イーグルスのロゴ入りの仙台土産をお求めになる方、「たくさんの方の感動をも

らったから」とパレード協賛金にご賛同いただけただけの方などで溢れ、悲願の初優勝を全国の方々と喜び合った一日になりました。(桑島美奈)

発行責任者 塚崎隆夫  
事務局  
〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21 (有)アズシステム  
桑折洋一 Mail: koori@az-sys.co.jp